



令和8年9月28日
垂井町立表佐こども園

朝、「トンボがいる!」と園庭に飛んでいるたくさんのトンボに気付いた子どもたち。見上げながら走って追いかけたり網を使って捕まえようとしたりと、トンボとの追いかっこが始まります。子どもたちと園庭で遊んだり、散歩に出掛けたりしながら、秋の自然に触れていきたいと思います。

ウナギを見たよ



地域の人が持ってきてくれたウナギとのふれ合いを行いました。保育士が準備をしている時から「ここにウナギを入れるの?」「触れるかな?」とワクワク、ドキドキしていた子どもたち。地域の人がウナギをビニールプールに入れると歓声上がり、泳ぐ姿をじっと見つめたり、「ツルツルする!」と感触を感じたりしていました。ウナギを捕まえる道具や稚魚も見せてもらい、貴重な体験をすることができました。

夏野菜でクッキングをしたよ



4・5歳児が園で育てているピーマンとナス、バジルを使って、ピザ作りをしました。『何を入れようかな?』と考えながら、餃子の皮に具材を置いていました。焼いているとホットプレートからチーズの香ばしい匂いがして、「早く食べたい!」と食べたい気持ちが増しました。自分で具材を盛り付けたピザを食べて「おいしい!」と大満足。手作りのピザをもらった1〜3歳児の友達も嬉しそうに食べていました。

命を守る訓練をしたよ



毎月、地震や火災、不審者などの想定をして命を守る訓練をしています。今月は、大雨で園近くの川が氾濫の危険があると想定し、園北側の垂井町南体育館の2階に避難する垂直訓練を行いました。「川の水が溢れそうだから、南体育館に逃げるよ」の保育士の話を聞いて静かに、そして階段は慎重に上がって避難していました。